

閉ざされた扉を開いて

－コロナ禍を経て“つながる” グループホームの挑戦－



グループホームつばき・グループホーム玄海園
山崎由紀子（リーダー）・古田幸（リーダー）

資料作成・野崎桃佳

◎はじめに

グループホームとは？

自分の住み慣れた地域や地元がいい



安心して暮らしを続けたい

地域の方々、友人とも変わらず
交流したい



そのため
住宅地の一角にあることも多い

◎グループホームに求められること



地域住民との
交流



ご利用者の
社会参加

**孤立しない
支援**



◎コロナ禍での変化

2019年～2023年

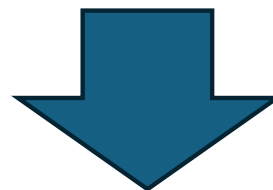
新型コロナウイルスの蔓延

『コロナ禍』

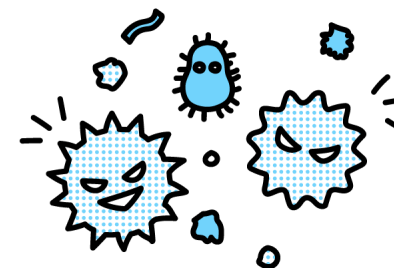
地域との繋がり



家族との関わり



面会や地域行事・施設行事の中止や制限



その状況に慣れてきて当たり前になりつつあった

◎制限がある中での活動



おしゃれクラブ



感染対策の為、ご利用者と職員のみで
ホーム内でできる活動に限られていた



干し柿づくり



ホーム内でカラオケ

◎取り組みのきっかけ

このままでは・・・

問題点の発見



✓家族や地域との交流で得る
楽しみや生きがいを
奪ってしまうことなのでは？

✓グループホームの役割が十分に
果たされていないのでは？

✓グループホームの孤立化が進むかも？

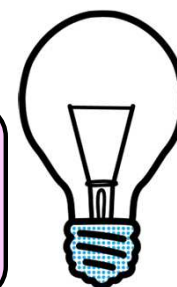


ご利用者にもっと笑顔になってもらいたい！

グループホームの良さを知ってもらいたい！



地域との関わりを復活させよう！！



◎地域・家族との関わりを増やす為に工夫したこと

今まで

A：グループホーム
それぞれの活動

B：グループホーム発信で
地域の方との交流



今回の
ポイント

A：グループホーム合同での
活動しよう！

B：地域資源を活用しよう！



情報収集しよう！

◎地域・家族との関わりを増やす為に工夫したこと

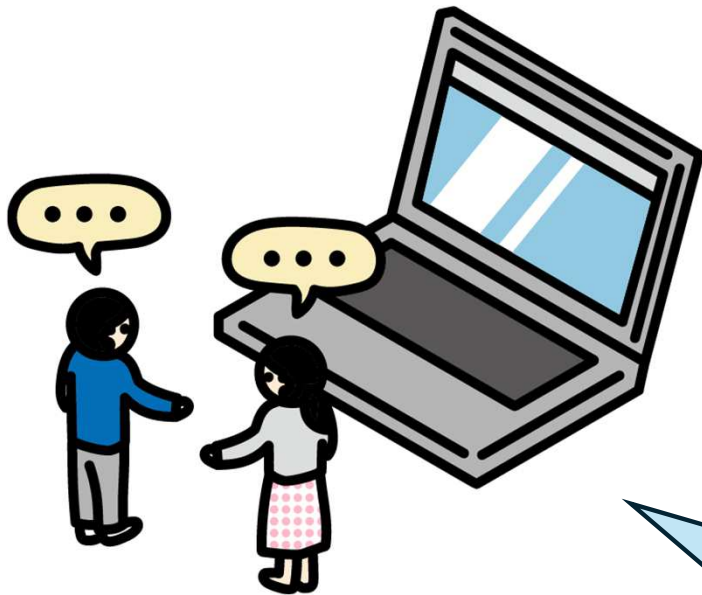
地域の保育園では魚の解体ショーをやっているらしい

オレンジカフェに参加すれば
地域の方と交流できるのでは？

地域の行事は何があるだろう？

家族アンケートでの意見の見直し

運営推進会議の委員さんへ情報をもらうのはどうだろう？



①お魚解体ショー 🐟 (地元業者)

➡お刺身やお寿司、鯛の塩焼きや
煮つけ、お吸い物など
魚料理を満喫されました♪





お魚が好きな方も多く、とても喜ばれていました(^^)
 素敵な笑顔です♪

②オレンジカフェへの参加

→体操運動や創作活動に取り組めます。
地域の方も参加されるので
知り合いや、近所の方が来られたりと
地域の方との交流の場に♪





素敵な作品です ✨



③産業文化祭に出展

→生け花や貼り絵作品を出展しました！
地域の方にも見てもらい
お褒めの言葉を頂きました ✨



④大相撲巡業見学

→こんな機会は滅多にない！と
皆さま喜ばれていました(^^)





令和6年11月16日、17日に開催された

第33回 玄海町産業文化祭の

展示作品として

グループホーム

玄海園の皆さんで

作られた作品です。



産業文化祭で出展した
大相撲の貼り絵は
会場でも展示されました ✨

ご利用者の頑張りを
より多くの方に
見ていただく事が
出来ました♪



⑤お花の苗を頂き花壇を作る

→お花の苗を分けて頂き、
グループホームつばきの花壇に植えました。
畑仕事をされていた方も多く、
草むしりから花植えまで
楽しんでされていました 🌸



⑥園児たちとの交流

➡お誘いを頂き、地域の保育園行事の
玉ねぎを掘りを見学しました。
可愛い園児たちを応援され、
お土産に玉ねぎも頂きました(^^)



⑦合同家族会

→親睦会を兼ねて
グループホーム合同BBQをしました♪
家族様や民生委員さんとの交流で
情報交換もでき
職員間の交流も図る事ができ
大成功でした!(^^)!



◎取り組みを通しての変化

イベントを行う事でご利用者の楽しみ・笑顔が増えた！

創作活動など目的をもって行う事で生活にもハリが！



社会参加の機会が増え
地域と繋がって暮らしている実感！

家族様にも発信する事で安心や信頼にも
繋がるとの意見も！

地域の方にグループホームをもっと知ってもらえる！

グループホーム合同で行事を行う事で顔なじみの関係性が出来た

◎結果・考察

- ✓ 地域資源を活用する事で、ご利用者の社会参加が可能となり、生活の質の向上やご利用者・家族様の満足度向上につながった。
- ✓ 取り組みを通して地域の方と顔なじみの関係ができ、家族様だけでなく地域の方にもグループホームでの生活を知ってもらうことができた。また、家族や地域の方からの賛辞は職員のモチベーションアップにもつながった。
- ✓ 合同で活動を行う事により、ご利用者と職員の顔なじみの関係ができ、グループホームのヘルプ体制の構築が容易になった。



◎今後の取り組みと課題

- ✓ グループホームと地域が築いてきた関係を継続し、地域資源を広げていく。
- ✓ ご利用者個人のニーズを正確に把握し、地域活動につなげていきたい。
- ✓ 「認知症の人」の今までの暮らしを続けていくためにも家族様とより協力し取り組んで行きたい。



ご清聴ありがとうございました

住むところが変わっても以前と同じように
家族や友人、地域の方とのつながりを通して
楽しさや安心感を感じられるような
支援を続けていきたいと思います。

